

熊本県総合計画

ゆたか多彩 生活創造 くまもと

目標
県民一人ひとりが自分らしく暮らせる熊本をつくること。

優しいくまもとづくり
思いやりにあふれ、誰もがいきいきと暮らせるくまもとを築くこと。

躍動するくまもとづくり
豊かな自然の中で、力強く発展するくまもとを築くこと。

県民の目標は「今の目標は何か?」
「スポーツを頑張りたい」「子供がいたら助けてほしい」「勉強したい」「就職したい」
「県民の目標は何か?」
「総合計画」で言ったけど、基本的な目標を決めて、計画的に仕事を進めたいんだ。

何で県庁で?

第3回

県庁で。どんな仕事をしているのか、あまりイメージが浮かばないという方も多いのではないのでしょうか。県庁の仕事は、皆さんの暮らしにいろいろなかわりをもっています。今回は、県の仕事の進め方について、わかりやすく紹介します。

分野別計画の例

- やさしいまちづくり推進計画
(高齢者や障害のある方が暮らしやすい地域社会をつくることを目標です。)
- 労働行政プラン「パワフルプランくまもと」
(働く人々がゆとりをもって働ける環境づくりが目標です。)
- 熊本県農業基本計画
(農業を盛んにすることが目標です。)
- 熊本県工業振興ビジョン
(工業を盛んにすることが目標です。)

県は、総合計画の下にも仕事の分野別に計画を作っているんだ。例えばお年寄りの健康づくりや福祉を進める計画では回数を数値で表しているんだ。

「これだと目標とおりに仕事が進んでいるかどうか、分かりやすいね。」

「よっほ、計画的に進めたいってチャレンジャーだね。」

「そっか、それだね。」

「また、さあね。」



計画を「作り」たり「実行」したりするときは、みんなの意見や意見を聞いたり、議論に相談したりしながら進めるんだ。

例えば、住みよい街づくりの都市計画事業は、大まかに「こんな感じ」に進められている。

よりよい環境を次の世代に

私たちは、熊本の豊かな自然に恵まれ、その恩恵を受けながら暮らしてきました。しかし今日、私たちがとりまく環境は、さまざまな脅威にさらされています。一口に環境問題と言っても、家庭排水、ごみ問題、地球温暖化、オゾン層の破壊など身近なものから地球規模のものまでさまざまです。理解しておきたいことは、これらの環境問題は私たち一人ひとりの行動の結果であるということです。今、私たち一人ひとりの「環境にやさしい行動」が求められています。

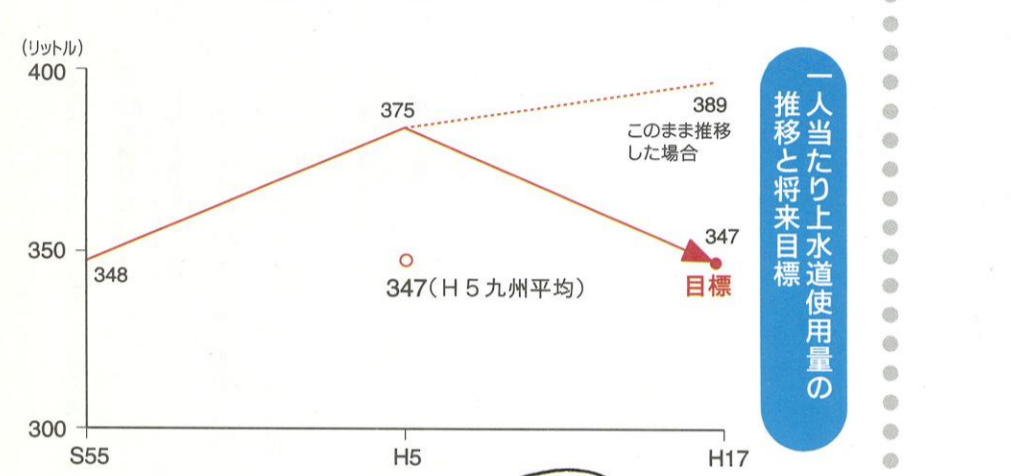
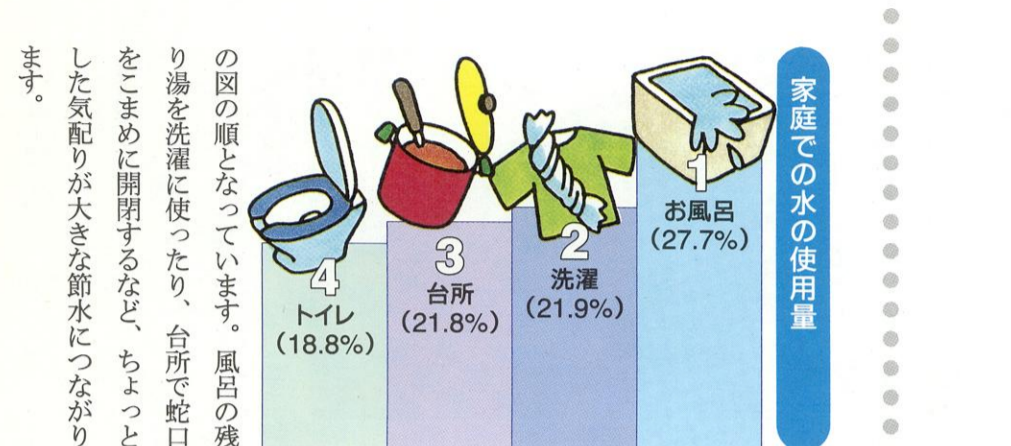
こうした観点から、県では、昨年十二月に、本県の環境施策の基本的な方向や具体化の手順を示すものとして、「熊本県環境基本計画」を策定しました。平成九年を新たに「環境元年」と位置付け、積極的に施策を進めていくこととしています。県民みんなで協力しあい、豊かな環境を次の世代に伝えていきましょう。今回は私たちの日常生活に最も身近な水・大気・ごみについての取り組みを簡単に紹介します。

1 地下水の保全

本県は水道水の約八割を地下水でまかなっています。全国的にみても大変珍しいケースと言えるでしょう。しかし、この地下水も、開発や使用量の増加により年々水位が低下しており、地下水保全のための取り組みが急がれています。

地下水を守っていくためには、雨水などが地下に浸透する量(かん養量)と水をくみ上げる量(使用量)とのバランスをとることが、つまり、かん養量を増やし、節水に取り組むことが最も重要なことです。

かん養については、屋根に降った雨を地下に浸透させる「浸透ます」を家庭に設置することも効果的です。また、家庭での水の使用量は、下



お知らせ

環境月間記念講演会 「江戸社会のリサイクル構造」
日時/6月3日(火)13時30分～
場所/熊本テルサ
熊本市水前寺公園28-51
講師/石川英輔氏(作家)
6月は環境月間です。作家であり、テレビ番組の司会者でもおなじみの石川英輔氏を講師に迎え、植物をたくみに利用していた江戸時代のリサイクル文化を紹介します。また、第6回くまもと環境賞表彰式も同時に開催します。

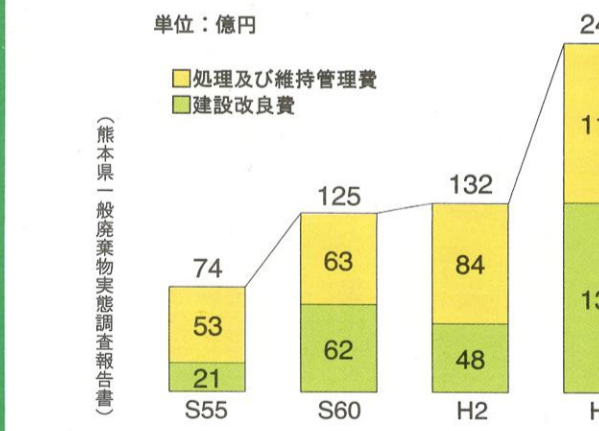
環境基本計画解説ビデオを進呈します。
昨年12月に策定した環境基本計画の解説ビデオを作成しました。熊本県出身の人気お笑いタレント「海砂利水魚」が環境基本計画をわかりやすく解説してくれます。ご希望の方は抽選で50名様に進呈しますので、住所・氏名・電話番号を記入のうえお申し込みください。

●申し込み・お問い合わせ
熊本県環境生活部環境政策課
〒862-70
熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL 096-383-1111
内線 7319

2 フロンの回収

地上から二〇〜三〇キロメートルの高さにあるオゾン層は、太陽光線に含まれる有害紫外線を吸収し、私たち生物を守ってくれる地球の防護服です。しかし、冷蔵庫、カーエアコン、冷凍空調設備などに使用されているフロンによってオゾン層の破壊が進んでいます。日本では平成七年末にオゾン層の破壊の大きい特定フロンの生産を廃止しました。これからは、フロンを使用した機器が廃棄されるときに確実にフロンを回収・処理することが重要な課題です。県内では、家電、自動車、冷凍空調設備機器などの関係事業者、消費者団体、自治体で構成されるフロン回収・処理実施協議会が中心となってフロン回収に取り組んでいます。

冷蔵庫やクーラーなどからフロン回収が適切に行えるよう協力することが「地球市民」として大切な行動の一つです。



3 容器包装のリサイクル

家庭から出るごみは年々増え続けています。全国の処分場の残余年数は約八年と非常に短くなっており、深刻な事態を迎えています。この家庭ごみのかなりの部分を缶、ビン、ペットボトル、牛乳パックなどの容器・包装材が占めているのを存じでしょうか。

そこで、これらの容器・包装材のリサイクルを進めることが、ごみの減量に非常に効果的であることから、

今年四月から容器包装リサイクル法による取り組みが開始されました。これは、消費者、市町村、事業者のそれぞれが社会的責任を分担し、容器・包装材のリサイクルを促進しようというものです。

消費者 分別排出に協力
事業者 分別収集されたゴミの再商品化義務
市町村 分別収集の義務

再資源化

県立装飾古墳館

装飾古墳館は、熊本に多く残る遺跡・遺物を通じて、県民の皆様が歴史に対する理解を深めていただける場として、平成四年にオープンしました。

県内の代表的な装飾古墳のレプリカを展示した装飾古墳室、古代の生活を知ることのできる常設展示室などの展示のほか、立体映像による映画の上映や古代生活を再現する体験学習会などの催しを行っています。

装飾古墳館は、単に「見る」だけでなく、体験することもできる博物館を目指しています。古墳の点在する丘にたえず装飾古墳館で、古代の人々の息吹を感じてみませんか。

開館時間/午前九時三〇分～午後五時
入館は午後四時三〇分まで
休館日/毎週日曜日・月曜日(祝日)
の場場合は火曜日が休館日
十二月二十五日～一月四日
お問い合わせ/熊本県立装飾古墳館
☎096(36)2115

県施設紹介

熊本県立装飾古墳館